

# 継承

## 《舞鶴山》

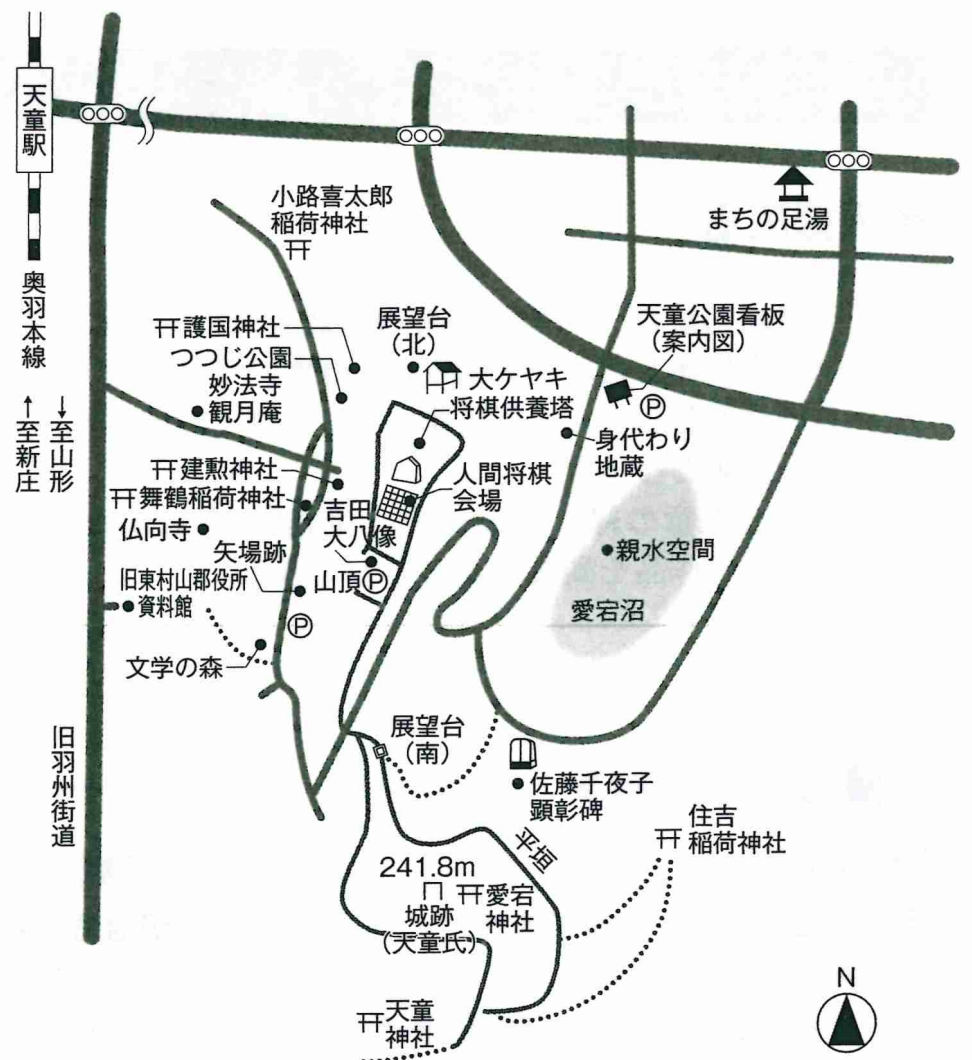
歴史と自然の宝の山として親しまれている。花見スポットでもあり、4月は桜、5月はつつじ、夏は、彼岸花、秋は、もみじが美しい。

西側の**建勲神社**は織田信長を祭神としている。**護国神社**は、自刃し果てた吉田大八を祀った神社。中には人形師・神保平五郎の作った吉田大八の木像が納められている。

### 旧東村山郡役所資料館

東村山郡の役所として明治12年10月に完成した建物。明治時代の洋風建築として山形県有形文化財指定。現在は、資料館として、「幕末の天童織田藩」や「天童と戊辰戦争」、「天童の政治や文化の発展」などを展示している。

天童織田家や吉田大八が実際に使用していた品々も展示。



### 維新軍楽隊

戊辰戦争の時、吉田大八が藩主に代わり奥羽鎮撫軍を先導した。この時軍楽隊が演奏したのが「維新軍学」である。もともと軍楽隊は藩士の士気を鼓舞するために編成されたと言われている。天童織田藩軍楽隊は解散したが、元織田藩士の人たちによって再編された。その後、維新軍楽は継承者が少なくなったが、維新軍楽保存会から依頼され、織田藩御陣屋跡地に開校する南部小学校の郷土芸能クラブの活動として継承されている。

## ＝ 食 ＝

### ○将軍家献上寒中挽き抜きそば 奉納奉告祭・賞味会

江戸時代末期、織田信長公の子孫で、第十一代藩主織田兵部少輔信学が、特産品の「そば」を、東北・北海道地方で唯一将軍家に献上したのが「寒中挽き抜きそば」とあり「大成武鑑時献上」に記されている。麺類食堂組合は、文献に基づき研究し当時の製法を忠実に再現して、平成16年1月から、賞味会を開催、冬の寒い時期に各お店でも提供している。



### ○天童織田藩 大八鍋

平成鍋合戦®を主催する天童商工会議所青年部が、郷土の名物にしようと開発した鍋料理。吉田大八にちなんで「大八鍋」と命名した。原崎沼の鴨のつみれ、天童産大吟醸酒粕や野菜などをふんだんに使った鍋。

鍋の出陣の前には、大八公をお参りし、神社に奉納を行っている。



## 経済と流通を活性化させた 信長の精神を今に...

- 「天童桜まつり」
- 「人間将棋」「信長公祭」
- 「天童夏まつり」
- 「軽トラック市」
- 「織ら田の天童 楽市楽座」
- 「平成鍋合戦」 など



## 縁結びの若松

「縁」を結んで、愛の天下取り！  
若松寺縁結び祈願祭は  
4月～12月の第一日曜日午前10時

